

3 活力のあるまちづくり

■ 行徳地域の特性を生かしたまちづくり

事業名 (所管)	53 海辺を生かした行徳臨海部のまちづくり（行徳臨海部再整備事業） (行徳支所 臨海整備課)
事業概要	行徳臨海部における海辺を生かしたまちづくりを進め、本市の魅力を高めるとともに市民が愛着を持って、住み続けたいと思うまちを創造するため、利便施設や道路及び遊歩道等の整備を行う。 (令和2年度予定) ・行徳臨海部道路詳細設計委託 ・漁港活用施設整備工事
事業費	165,000 千円 総工費 1,277,000 千円（平成30年度～令和4年度）
数値目標	工事の進捗率 20.4%

事業名 (所管)	54 塩浜地区のまちづくり（塩浜地区整備事業） (街づくり部 街づくり推進課)
事業概要	「塩浜地区まちづくり基本計画」（平成17年度策定）に基づいた官民協働の街づくりを進めており、市川塩浜第1期土地区画整理事業が令和元年度に完了した。 引き続き本地区の市有地を活用し、海が感じられ賑わいのある街を創設するため、駐車場整備等を行う。
事業費	9,048 千円
数値目標	工事の進捗率 100%

事業名 (所管)	55 市川漁港の整備（市川漁港整備事業） (行徳支所 地域整備課)
事業概要	市川漁港は市川Ⅱ期埋立計画を前提に整備されたため、狭あいで十分な漁港施設がなく漁業活動に支障をきたしている。また、完成から約 50 年が経過し施設の老朽化も著しく、効率的で安全な漁業活動ができるよう漁港施設を整備する。 平成 28 年度～令和 2 年度 市川漁港整備工事（第Ⅰ期） （令和 2 年度予定） ○漁港整備委託料 ・モニタリング調査 ・基本設計等修正 ・漁具倉庫設計 ○漁港整備工事 ・係留および外郭施設工事 ・外構工事 ・護岸整備工事（平成 30～令和 2 年度継続事業）
事業費	578,000 千円 総工費 3,456,522 千円（平成 27 年度～令和 2 年度）
数値目標	工事の進捗率 100%

事業名 (所管)	56 地域コミュニティゾーンの整備（地域コミュニティゾーン整備事業） （こども政策部 発達支援課） （道路交通部 道路建設課） （水と緑の部 河川・下水道建設課） （行徳支所 臨海整備課） （水と緑の部 公園緑地課）
事業概要	地域課題への対応として、住民の利便性と地域の魅力を向上させるため、地域に不足している施設等の整備を行う。 ○保育園等建設運営事業者選考（発達支援課） ○保育園・児童発達支援センター敷地等造成工事（発達支援課） ○道路詳細設計委託（道路建設課） ・妙典5丁目（市道8133号） ○地域コミュニティゾーン内水路整備工事（河川・下水道建設課） ○公共嘱託登記委託（臨海整備課） ○下妙典公園実施設計委託（公園緑地課） ・委託場所 下妙典公園（下妙典941番3） ・委託内容 実施設計 約2.2ha
事業費	315,055千円 総工費 2,195,000千円（令和元年度～令和4年度）
数値目標	工事の進捗率 16.6%

事業名 (所管)	57 （仮称）市川市行徳パスポートセンターの整備（旅券発給窓口事業） （市民部 市川駅行政サービスセンター） （行徳支所 総務課）
事業概要	現在、市川駅行政サービスセンター内の市川市パスポートセンターにおいて、パスポート申請の受付及び交付を行っている。 今回、行徳地域における行政サービスの充実及び市民の利便性の向上を目指し、令和3年4月（予定）に、（仮称）市川市行徳パスポートセンターを開設するための整備を行う。

	○過去３年間の市川市パスポートセンターにおける申請件数 ・平成２８年度 １５,６６２件 ・平成２９年度 ２０,５６１件 ・平成３０年度 ２２,９３６件
事業費	２２,５８５千円
数値目標	整備の進捗率 １００％

事業名 (所管)	５８ 水辺を活用した観光の推進（水辺の観光推進事業） （観光部 観光政策課）
事業概要	江戸川放水路など、本市における水辺を活用した観光イベント等を実施する。 ○釣りなどのレジャー体験 ○水辺の観光の案内・周知 ○アンケートの実施 等
事業費	１０,０００千円
数値目標	イベントの開催数 １件

■ スタートアップ支援等の推進

事業名 (所管)	59 起業家の支援（起業家支援事業） (経済部 経済政策課)
事業概要	創業支援等事業者と協力し、起業しやすい環境整備のためのセミナーや、起業塾の開催、起業に向けた相談業務を実施する。また、並行して、起業後の事業を安定・加速させるため新たな相談窓口の設置、及び現地訪問なども行い地域経済の活性化に寄与する。 ○令和2年度予定 ・起業セミナー ・Ichikawa ワタシの夢起業塾 ・Ichikawa ワタシの夢起業塾 アドバンスコース ・起業相談 ・ジャンプアップ支援 ・Ichikawa 起業家交流会
事業費	4,779 千円
数値目標	支援対象者数（延べ） 410 人

事業名 (所管)	60 未来に向けたまちづくり（いちかわ未来創造事業） (企画部 企画課)
事業概要	先進技術等を活用し、便利で暮らしやすいまちの実現を図るため、産学官のコンソーシアムである「いちかわ未来創造会議」が地域課題の解決に向け実施する社会実証実験や、技術革新のボトムアップのための中高生を対象とした人材育成を支援する。 令和元年度の社会実証実験参加者に対し、提携企業や金融機関とのマッチング等のフォローアップを行うことで、スタートアップを支援する仕組みを構築する。

	また、本市の先進的な取り組みについて広くPRを行う。 ○令和元年度の取り組み ・社会実証実験の実施（13 者※予定者も含む）
事業費	51,500 千円
数値目標	協力会員数 30 社

事業名 (所管)	61 都市農業の振興（都市農業振興支援事業） (経済部 農業振興課)		
事業概要	市民と共存する都市農業の実現のため、減農薬栽培など環境にやさしい農業や生産力の強化に対して支援するとともに、PRイベントの開催や民設市民農園の開設を支援し、農業理解の推進と市内産農産物の消費拡大を図る。		
	○主な補助金及び事業	令和2年度 当初予算	令和元年度 当初予算
	・減農薬栽培推進事業補助金	2,000 千円	2,200 千円
	・防鳥網等設置事業補助金	2,100 千円	900 千円
	・ちばの園芸産地整備支援事業補助金	5,500 千円	13,000 千円
	・農薬飛散防止施設設置事業補助金	300 千円	300 千円
	・市民農園開設等支援事業補助金	150 千円	300 千円
	・農産物等PR事業	700 千円	700 千円
	・スマート農業推進事業補助金	2,475 千円	－
事業費	15,361 千円		
数値目標	スマート農業推進事業補助金申請者数 10 件		

■ デジタルトランスフォーメーションの推進

事業名 (所管)	62 ICT化の推進（ICT化推進事業） (情報政策部 Web 管理課)
事業概要	○オンライン申請 市民が手続きのために市役所に来なくてすむよう、WebやLINEから申請できる手続きを段階的に増やす。 ○キャッシュレス化 証明書の発行手数料など、市民が窓口で行う支払いに対し、キャッシュレス化を進める。 ○SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用 問い合わせにAIが自動で回答するAIチャットボットの充実など、本市のLINEアカウントの機能拡充を進める。
事業費	37,724 千円
数値目標	オンライン化する新規手続数 20 件

事業名 (所管)	63 市公式Webサイトの利便性向上（市公式Webサイト管理運営事業（CMS再構築）） (情報政策部 Web 管理課)
事業概要	CMS（コンテンツマネジメントシステム）の入れ替えにより、アクセシビリティ（様々な身体的条件や年齢等を想定した利用しやすさ）や職員の事務効率を高めるとともに、Webサイトの全体構造を再設計することで情報へのたどり着きやすさなど閲覧者の利便性を向上させる。 また、来庁予約システム等と連携することで、ワンストップ窓口サービスを支援するとともに、今後推進する電子申請や電子決済に備えた機能拡充を行うなど、電子市役所の基盤となる拡張性の高い環境を整備する。
事業費	133,000 千円
数値目標	サイト閲覧者数 220,000 名／月

事業名 (所管)	64 業務システムの再構築（基幹系システム再構築事業） (情報政策部 情報政策課)
事業概要	基幹系システム再構築に関するパッケージシステムのトライアル検証を行うとともに、意見招請を行い、新システムの設計等を進める。併せて、個別システムを含む全システムの最適化等に向け具体的な検討を行う。
事業費	210,000 千円
数値目標	システム調達に係る設計の進捗率 100%

事業名 (所管)	65 新庁舎フリーアドレス対応のためのネットワーク整備（情報システム運用管理事業（無線端末化）） (情報政策部 情報システム課)
事業概要	新第1庁舎及び新第2庁舎において、フリーアドレス対応エリアにおける無線ネットワーク環境及びその他個別執務室・各課の業務用端末エリアにおける有線ネットワーク環境を整備するもの。
事業費	412,689 千円
数値目標	無線ネットワーク環境整備率 100%

事業名 (所管)	66 電子行政の推進（電子行政推進事業） (情報政策部 デジタルトランスフォーメーション推進課)
事業概要	○デジタルトランスフォーメーション推進本部業務 令和元年策定の「市川市デジタルトランスフォーメーション憲章」を踏まえ、新第1庁舎等におけるワンストップ窓口サービスを実行するとともに、職員が自身の仕事に誇りを持ち挑戦する気持ちを常に持ち続けられるよう、職員マインドの醸成や仕組みづくり等に取り組む。 ○ワンスオンリーの推進

	一度提出した情報の再提出を不要とするワンスオンリーの実現に向けて、市民ID（仮）等活用の検討や実証実験等を行う。 ○地域高度無線化推進 地域における高度な無線通信環境の整備に向けて、現状調査、新技術導入の検討のほか、実証実験等を行う。
事業費	250,000 千円
数値目標	市民IDを活用したサービスの実証実験件数 3件

■ 機能的な新庁舎の整備

事業名 (所管)	67 新第1庁舎等を活用した政策プロモーション（政策プロモーション推進事業） (広報室 広報広聴課)
事業概要	まだ知られていない本市の魅力や政策の先にある社会の姿について、多様な媒体を用いて、分かりやすく興味深い内容にして、継続的に発信する。 また、新第1庁舎を単なる手続きのために訪れる場所としてではなく、コミュニケーションやネットワーク構築の場としていくほか、政策を市民に分かりやすく説明する場として活用する。 ○令和2年度の取り組み ・ 市政情報、市民活動のチラシ等を電子化し、デジタルサイネージで配信する。 ・ 動画を中心に、素早くより分かりやすい情報発信をする。 ・ イベント・ワークショップなどを実施する。
事業費	73,957 千円
数値目標	動画による情報発信件数 42 件

事業名 (所管)	68 新第1庁舎の完成・供用開始（庁舎整備事業） (街づくり部 新庁舎建設課)
事業概要	本庁舎については、耐震性の確保と防災活動拠点の整備、狭あい化・分散化の改善など市民サービスの向上を目的に、建替えによる庁舎整備を進めており、令和2年度の新第1庁舎の完成に向けて整備を行う。
事業費	1,971,893 千円 総工費 18,445,155 千円（平成23年度～令和2年度）
数値目標	工事の進捗率 100%

■ 地域コミュニティの活性化

事業名 (所管)	69 自治会の新たな取り組みへの支援（自治会提案地域活性化事業補助金） (市民部 地域振興課)
事業概要	地域の歴史や文化伝統を伝える取り組みや、市外の自治会との交流など、自治会が新たに提案し実施する地域の活性化につながる新規事業に対し、補助金を交付する。
事業費	6,000 千円
数値目標	申請件数 4 件

事業名 (所管)	70 学びと交流の新たな場の提供（新たな学びと交流の場づくり事業） (生涯学習部 社会教育課)
事業概要	本などを介して、市民等が集い新たな価値を創出できるように、学びと交流の新たな場の提供に向けた基本構想を策定する。
事業費	22,000 千円
数値目標	基本構想の策定 100%

■ 文化創出等の推進

事業名 (所管)	71 文化の振興（文化施策活性化事業） (文化スポーツ部 文化芸術課)
事業概要	地域や民間企業と連携・協力を図りながら若手アーティストなどによる幅広い分野の作品発表の場を創出することで、市民が日常的に文化に触れることができるまちづくりを進める。 日本古来の伝統文化に馴染みの薄い若者や外国人が、伝統芸能を身近に感じられる文化イベントを開催する。 改元により万葉集が注目されたことを機に、自然石を用いた市ゆかりの万葉歌碑を建立する。 ○街中アートギャラリー（作品を展示する場）の創出 ○伝統芸能に係る文化イベントの開催 ○万葉歌碑の建立
事業費	28,850 千円
数値目標	発表作品数 10 件

事業名 (所管)	72 市ゆかりの文化人紹介（永井荷風書斎移築事業） (文化スポーツ部 文化芸術課)
事業概要	文豪永井荷風は、晩年の 13 年間に市川市で暮らした。八幡には実際に創作活動の場であった書斎が遺族の手で保存されており、市川の文化的資産を市内外に広く発信するため、現存する書斎を再現し永井荷風の足跡が感じられる展示を行う。 ○書斎移築展示基本設計業務 ○書斎移築展示実施業務
事業費	30,000 千円
数値目標	移設の進捗率 100%

事業名 (所管)	73 文化の発信拠点整備（文化会館大規模改修事業） (文化スポーツ部 文化施設課)
事業概要	昭和 60 年に開館した文化会館は、これまで短期間で施工可能な修繕を実施してきたが、既に築 30 年以上が経過しており、建築基準法改正に伴う既存不適格の天井などの改修や老朽化し不具合の出ている各種設備の更新が必要であることから、改修を行う。 平成 30 年度から令和元年度は設計業務委託を実施、令和 2 年度から 3 年度については改修工事を実施する。
事業費	1,915,000 千円 継続費総額 4,830,000 千円（令和 2 年度～令和 3 年度）
数値目標	工事の進捗率 39.6%

事業名 (所管)	74 史跡の公有化推進（史跡公有化事業） (生涯学習部 考古博物館)
事業概要	国指定史跡下総国分寺跡附北下瓦窯跡の史跡の保存を目的として、用地の公有化を図る。 ・令和 2 年度公有化予定面積 2,281 m²（1 筆）
事業費	234,943 千円
数値目標	公有化率（年度末） 62.8%

事業名 (所管)	75 史跡の維持管理（史跡維持管理事業（文化財多言語解説等整備事業）） (生涯学習部 考古博物館)
事業概要	貴重な文化財の価値を在住外国人や訪日外国人にも広く周知するため、国指定の文化財について、VR等の先進的な技術を活用した多言語による解説コンテンツを整備し、文化財の魅力を発信する。 対象文化財 ・法華経寺 五重塔〔重要文化財〕 外
事業費	36,000 千円
数値目標	対象となる文化財数 3 箇所

■ 生涯学習の推進

事業名 (所管)	76 公民館の利用促進（公民館主催講座活動事業） (生涯学習部 社会教育課)
事業概要	公民館を地域の学習拠点とするため、地域住民に多様な学習機会の提供と生涯学習を促すとともに、多様化・高度化する学習ニーズの把握に努め、住民の生活課題にも対応した主催講座を実施する。
事業費	7,952 千円
数値目標	主催講座数 270 講座

■ 都市型観光の推進

事業名 (所管)	77 都市型観光の推進（市川市観光振興ビジョン策定事業） (観光部 観光政策課)
事業概要	官民、地域、公共交通機関などが連携した一体的な取り組みにより、都市型観光を強く推進するため、観光振興ビジョンを策定する。 ○観光振興ビジョン 市のみならず、市内観光関係者及び市民が共有し、ともに推進するための共通の将来像、目指すべき姿。
事業費	20,000 千円
数値目標	市民アンケート回収数 400 件

事業名 (所管)	78 市内観光促進のための実証実験（電動アシスト付き自転車等活用事業） (観光部 観光政策課)
事業概要	市内観光の利便性を高めるため、公共施設、民間観光施設、商業施設等と連携を図りながら、電動アシスト付き自転車等の配備に関する実証実験を実施する。 ○実証実験の内容（予定） 整備場所や整備台数、広域的な連携、課題の抽出等を実証実験により探る。
事業費	10,000 千円
数値目標	ステーション数 20 箇所

■ 国際連携の推進

事業名 (所管)	79 姉妹・友好都市及びパートナーシティとの交流（海外都市交流事業） (企画部 国際政策課)
事業概要	姉妹・友好都市及びパートナーシティとの交流事業を実施する。 令和2年度は、ローゼンハイム市の公式代表団の受入れ等のほか、樂山市青少年代表団受入れと東京オリンピック開催に伴うイッシー・レ・ムリノー市青少年代表団受入れを同時期に行い、本市を含めた3市での交流事業及び平和学習を実施する。
事業費	7,852 千円
数値目標	交流事業数 7 件

事業名 (所管)	80 海外都市や関係機関との連携（自治体連携事業） (企画部 国際政策課)
事業概要	海外の優れた知見や技術を取り入れることにより、地域の利便性及び生活の質を高めることを目的として、海外都市や関係機関との連携を実施する。 令和2年度は、カゼルタ市との連携を推進するための職員派遣、バルセロナ市で開催されるスマートシティ関連イベント参加及びパリにあるスタートアップ支援機関の視察に伴う公式訪問団派遣並びにパルヌ市の公式代表団受入れを実施する。
事業費	15,486 千円
数値目標	交流事業数 3 件